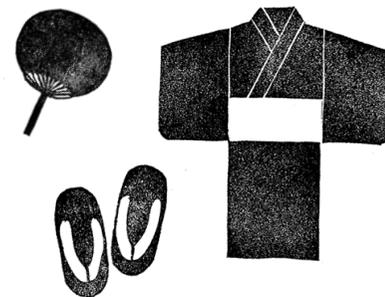


夏のおてがみ

あつい日がつづきます。エアコンのおへやでのんびり^{どくしょ}読書をたのしんでくださいね。

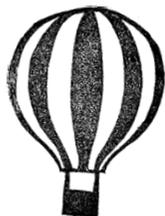


『人形つかいマリオのお話』

ラフィック・シャミ/作

松永 美穂/訳 たなか 鮎子/絵

徳間書店



人形つかいのマリオは、あやつり人形たちといっしょに国じゅうを旅して、自分で考えた人形芝居^{しげい}を見せていました。しかし、何年もするうちに、人気者になったマリオは同じ芝居を何度もくりかえすようになりました。同じ芝居をくりかえす人形たちはあきてしまい、ついに自分たちであやつり糸を切ってしまいました。

『地球がうみだす土のはなし』

大西 健夫・龍澤 彩/文

西山 竜平/絵

福音館書店



小さなどんぐりが土の上におちました。どんぐりは根っこをのばして、芽^めを出しました。芽はどんだんのびてりっぱな木になりました。小さなどんぐりがりっぱな木になったのはそこに土があったからです。こんどは木がかれ葉^はを落として土をつくる番です。土には長い時間とたくさんの命^{いのち}がつまっています。

『九色のしか 中国の昔話』

リン・シュウスイ/文

リャオ・ジャンホン/絵

宝迫 典子/訳 廣済堂あかつき



王妃^{おうひ}の命令^{めいれい}で、人を美しくする薬草^{やくそう}をとりに出かけた男が森で出会ったのは、九色にかがやくふしぎなしか。川に落ちてしまった男を、九色のしかは助けました。このことはだれにも言うなと、しかに口止めされたのに、男は王妃に話してしまいます。そのけがわをほしがった王妃のために、王は兵馬とともに森へ出かけてしまいました。

『いろいろな かぞくのほん』

メアリ・ホフマン/ぶん

ロス・アスキス/え

すぎもと えみ/やく 少年写真新聞社



世^よの中には、いろいろなかぞくがあります。かぞくのかたちや、おおきさには決まりはなく、さまざまです。この本の中にも、いろいろなかぞくがでできます。すんでいるいえが大きいひともいれば、いえがないひともいます。かぞくみんながはたらくいえもあれば、だれかひとりのはたらくいえもあります。

『コヨーテのはなし』

アメリカ先住民^{せんじゆうみん}のむかしばなし』

リー・パック/作

ヴァージニア・リー・バートン/絵

安藤 紀子/訳

徳間書店



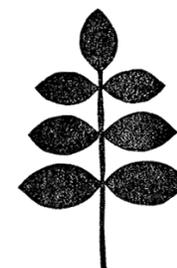
かしこい動物ときいて思いうかぶのはなんですか。アメリカ先住民の人々やメキシコの人々は、それは「コヨーテ」だと言います。日本人にはなじみがありませんが、コヨーテは小さいオオカミのようなすがたをしていて、小動物^{しょうどうぶつ}や木の实など、何でも食べる動物です。この本の中でコヨーテはかしこさをぞんばんにはっきしたり、時にはだまされたりします。

『ひろった・あつめた』

ぼくのマツボックリ図鑑^{ずかん}』

盛口 満/絵・文

岩崎書店



マツボックリにはどれだけの種類^{しゅるい}があるんだろう？マツボックリを見つけるとうれしくなるという作者^{さくしや}のゲッチョ先生が、色も形もさまざまなマツボックリのことを、教えてくれるよ。よく見かけるクロマツのマツボックリ、ツガという木のちいさなマツボックリ、テーダマツという木の大きなマツボックリ。さがしに行きたくなくなるね。

『虫のしわざ図鑑』

新開 孝／写真・文

少年写真新聞社

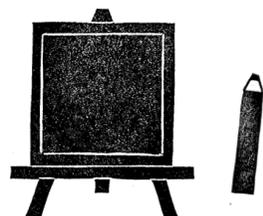


葉っぱにとまっている虫を見たことのある人は多いでしょう。虫たちは、葉っぱを食べたり、葉っぱにたまごをうんだりします。葉っぱを食べたあとは、葉っぱが「あみあみ」になり、たまごをうんだあとには、「まゆ」ができていきます。この本では、たくさんの虫と、そんな虫たちがのこしたり作ったりした「しわざ」をしようかいています。

『本屋のミミ、おでかけする！』

森 環／作

あかね書房



ミミは、町でひとつだけの本屋さんでおじいさんのおつだいをしています。ミミは本が大好きで、本さえあれば何もいりません。ある日、お店にきた絵かきさんにスケッチにさそわれます。けれどミミは、外に出るのがこわくてことわってしまいます。じぶんの好きな世界にだけいる女の子が、外の世界へ一歩ふみだす物語です。

『シェルパのポルパ エベレストにのぼる』

石川 直樹／文

岩波書店



ヒマラヤで有名なエベレスト。ポルパはヒマラヤのふもとにくらす男の子です。シェルパとよばれる登山家を手助けするしごとをしています。でも、まだ行けるのは、氷河の入り口までです。頂上までは何日もかかり、体力も技術も必要です。ある日、テンジンおじさんがそろそろ山登りを教えてあげようと声をかけてくれました。

『ステラとカモメとプラスチック うみべのおそうじパーティー』

ジョージナ・スティーブンス／作

イジー・パートン／絵

伊藤 伸子／訳

岩崎書店



ステラは小さな友だち、カモメのミューちゃんのぐあいがわるいことに気づきました。人間が海にすてたプラスチックごみをたべていたからです。海にはひろいきれないほどたくさんのゴミがありました。うみべのおそうじパーティーをしよう！ステラはまちのお店をまわり、ポスターをはり、おかし会社に手紙をかきました。

『あめかっぱ』

むらかみ さおり／著

偕成社



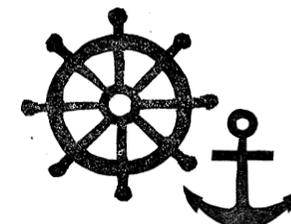
朝からずっと雨がふっています。お母さんはきゆうなようじで、出かけなくてははいけません。この町のこどもは、雨の日におるすばんをする時はかっぱとすごすことになっています。なおちゃんは、家にたずねてきたかっぱに、はじめはびっくりしていましたが、ピクニックのじゅんぴをしていたらだんだん楽しくなってきました。

『さがしてみよう！』

マークのえほん』

ぼここうぼう／え

学研プラス

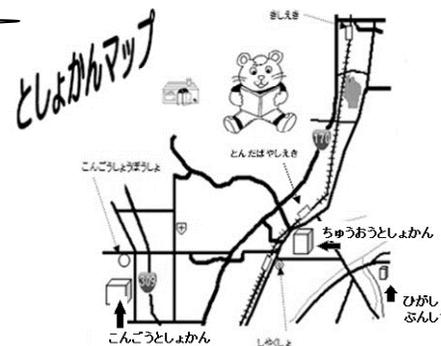
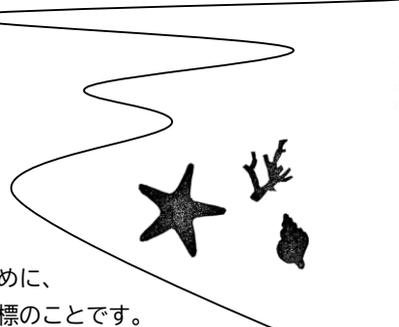


ひとめでだれにでもわかるように考えられたマーク。交通ルールやマナー、案内など町中にありますね。家の中にもマークはいっぱい。あなたの着ている服にも、食べ物や飲み物にも。この本を読みながら、身の回りのマークを探しましょう。何となく見たことのあるマークもなぜこのデザインかを知ることはとても大事なことです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs エスディーズ (持続可能な開発目標) って？

この地球にすむだれもとのこされることなく、みんなが安定して暮らし続けるために、世界のさまざまな問題を整理し、解決できるようにと、国連の会議でつくられた目標のことです。



富田林市立中央図書館
☎0721-25-4921

富田林市立金剛図書館
☎0721-28-1171

